

3 / 23

赤口 月

旬のもの マンゴー

マンゴーは熱帯においては食用果実としてもっとも好まれ、「果実の王様」と呼ばれています。ヒンズー教との関わり合いが深く、マンゴーは万物を支配する神ブラジャパティとして尊崇されていました。また、仏教との関わり合いも深く、シャカが現在のビハール州北部においてマンゴーの樹の下で野宿したことから、仏教徒にとっては神聖な樹となり、経典の中にArmaとしてしばしば現れています。ビタミンCやカリウムを豊富に含んでいます。身体からナトリウムを出す働きがあるため、高血圧症の方によいとされています。熟したものはベータカロチンが豊富で、成人病予防に効果があり、体内で必要な分だけビタミンAに変換されます。

世界気象デー

1950（昭和25）年に発足した、気象業務の国際的な標準化と調整を主な業務とする国連の専門機関「世界気象機関（WMO）」が10周年を迎えたことを記念して、1960（昭和35）年に制定されました。日本は1953（昭和28）年8月11日に加盟しました。

ほけんショップの日

2000（平成12）年のこの日、複数社の生命保険・損害保険商品を扱う保険代理店（ほけんショップ）が開業されたことにちなみ、株式会社ライフプラザホールディングスが記念日として制定しました。また、「保険を見直すと家族が強くなる」をスローガンに、3月を「生命保険見直し月間」としています。

3 / 24

先勝 火

旬のもの シロウオ

スズキ目ハゼ科シロウオ属。3～6cmの大きさで、やや黄色みを帯びた半透明の細長い形をしています。シロウオ（白魚）と混同されやすいですが、シロウオにはひれが無く、頭が丸みを帯びています。太平洋側では北海道から岡山県、日本海側ではサハリンから熊本までと、朝鮮半島からウラジオストックまで生息し、主な産地としては福岡県室見川、愛媛県岩松川などがあります。福岡博多の生きたまま流し込むように食べる「踊り食い」は有名です。産卵期に川に上がってくる2～5月が旬で、死後急速に味が落ちるため水を入れたパックで生きたまま流通しています。

ホスピタリティ・デー

思いやり・やおもてなしといった意味のホスピタリティの精神を広めるために日本ホスピタリティ研究会（当時）が1994（平成6）年に制定しました。数理的に、3・2・4はホスピタリティに関連性の高い要素が多く含まれていることから3月24日が記念日となり、日常生活の中でホスピタリティを意識的に実施する日とされています。

人力車発祥の日

1870（明治3）年のこの日に東京府より人力車の製造と営業の許可があり、日本橋のたもとから営業が始まったことを記念して、人力車の営業活動を行う「くるま屋日本橋」が制定。人力車は日本各地の観光地やイベントなどで活躍しており、最近では環境によい乗り物としても評価されています。